


使 つ う な い で

トーゴーの日
シンポジウム
2019

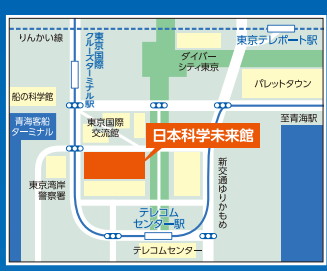
バイオデータベース

会場 日本科学未来館 7階
未来館ホールほか
東京都江東区青海2-3-6
<https://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>

日時 令和元年 **10月5日** (土)
10:30 ~ 17:45 (開場10:00)

 **お申し込み**
<https://biosciencedbc.jp/event/symposium/togo2019/>
申込締め切り ▶ **9月24日(火)**

**参加費
無料**



※日本科学未来館の常設展・企画展は別途入場料金が
必要です。

- ・新交通ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル駅」下車、徒歩約5分／「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分
- ・東京臨海高速鉄道りんかい線「東京レポート駅」下車、徒歩約15分

《お問い合わせ先》
トーゴーの日シンポジウム2019事務局
e-mail : sympo2019@biosciencedbc.jp

11:50 **招待講演①**
データ科学によるバイオ研究の新展開への期待
篠崎一雄 (理化学研究所環境資源科学研究センター センター長)



13:40 **招待講演②**
人工知能技術を用いた新しい価値の創出
浦本直彦 (三菱ケミカルホールディングス Chief Digital Technology Scientist / 人工知能学会会長)



ユーザー発表
データベースの活用事例や要望に関する口頭発表 … 3件
それらに対応する開発者からの発表 … 3件

ポスター発表・ワークショップ
データベースに関わる機関の関係者によるポスター発表とワークショップ

- 10:30 **開会挨拶**
-
- 10:35 **ChIP-Atlasをつないで使う**
 沖 真弥 (九州大学大学院医学研究院 講師)
-
- 10:50 **ユーザー発表①**
核酸医薬およびゲノム編集医療の現状と安全性評価
 井上貴雄 (国立医薬品食品衛生研究所遺伝子医薬部第2室 室長)
-
- 11:05 **開発者から**
GGGenome&CRISPRdirect : 塩基配列検索およびゲノム編集のためのウェブツール
 内藤雄樹 (情報・システム研究機構ライフサイエンス統合データベースセンター 特任助教)
-
- 11:20 **ユーザー発表②**
PGDBjデータベースの利用「栽培イチゴのゲノム解析・育種用選抜DNAマーカー開発」
 和田卓也 (福岡県農林業総合試験場 専門研究員)
-
- 11:35 **開発者から**
植物ゲノムポータルサイト・PGDBjとPlant GARDENの紹介
 磯部祥子 (かずさDNA研究所植物ゲノム・遺伝学研究室 室長)
-
- 11:50 **招待講演①**
データ科学によるバイオ研究の新展開への期待
 篠崎一雄 (理化学研究所環境資源科学研究センター センター長)
-
- 12:30 **休憩**
-
- 13:40 **招待講演②**
人工知能技術を用いた新しい価値の創出
 浦本直彦 (三菱ケミカルホールディングス Chief Digital Technology Scientist / 人工知能学会会長)
-
- 14:20 **ポスター発表・ワークショップオーガナイザーによるライトニングトーク**
-
- | | | |
|----------------------------|-------------|----------------|
| 15:00 ポスター発表 (奇数番号) | 15:10-15:40 | ワークショップ |
| 15:50 ポスター発表 (偶数番号) | 16:00-16:30 | |
-
- 16:40 **休憩**
-
- 16:55 **ユーザー発表③**
jPOSTデータベースの利用「ストレス耐性作物の作出を目指したプロテオミクス解析」
 小松節子 (福井工業大学 教授)
-
- 17:10 **開発者から**
プロテオームデータベースjPOSTの挑戦
 石濱 泰 (京都大学薬学研究科 教授)
-
- 17:25 **メタボロームから見る物質合成**
 有田正規 (国立遺伝学研究所生命情報・DDBJセンター センター長)
-
- 17:40 **閉会挨拶**

使つないで

バイオデータベース

トーゴの日
シンポジウム
2019

科学技術振興機構 (JST) バイオサイエンスデータベースセンター (NBDC) では、2011年4月よりわが国のライフサイエンス研究を推進するために、データベースをつなげて使いやすくする事業 (ライフサイエンスデータベース統合推進事業) を推進しています。この事業の一環として、NBDC では、ライフサイエンスデータベースに関するサービス提供と研究開発を行ってきました。特に、研究開発においてはこれまで、1) 高度なデータベース検索プラットフォームの構築、新しいツールの提供、さらには、生命科学系コンテンツをウェブ上で分散した状態で統合的に扱うための技術開発、2) 分野 (ゲノム、エピゲノム、プロテオーム、メタボローム、グライコーム等) ごとに産出される情報を網羅的に収集して整理することによって、生命科学のさまざまな領域の知識を集積する生命科学系コンテンツに関するプログラムを支援してきました。

これらの活動に関する発表を行うと同時に、ライフサイエンス分野のデータ統合に関する課題をともに考え、議論を深めるために、NBDCでは10月5日を「トーゴの日」として毎年シンポジウムを開催しています。

2019年度は、有用物質生産と育種に焦点を当て、データベースの高度な利用法として複数のデータベースを連携させる活用法や活用事例を紹介します。バイオ研究者から見た生命科学データベースへの期待について、および生命科学と人工知能の接点について、ゲストを招いた講演も行います。データベース関係者のポスター発表や、ワークショップも開催します。データベースの開発・運用・利活用について活発な情報交換や議論が行われる場となることを期待しています。みなさまお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。